

実践記録 小学5年 総合的な学習の時間

1 単元（題材） みんなの力でみんなの幸せを

2 教科の目標

野外民族博物館の見学を通じて、世界に目を向けることができるようにする。世界の国々の暮らしを知り、快適に暮らすために、どのような工夫がなされているかを調べる。

3 活用したICT

デジタルカメラ

4 活用したICTの特性

見学して見付けたことを、見たまま記録保存することで、分かりやすいまとめに活用することができる。（デジタルカメラ）

5 実践の様子

- ① 野外民族博物館見学の際、意欲的に世界の国々の暮らしを知るために必要な情報を集めることができるように、事前にどのようなことを調べてくると良いかを考えた。
- ② 野外民族博物館を見学し、分かったことをメモしたり、デジタルカメラで記録をしたりした。
- ③ 取ったメモを基に、世界の国々の暮らしの様子をまとめた。デジタルカメラの写真を使って、分かりやすくまとめることができるように、写真の大きさを3種類から選ぶようにした。（資料①）

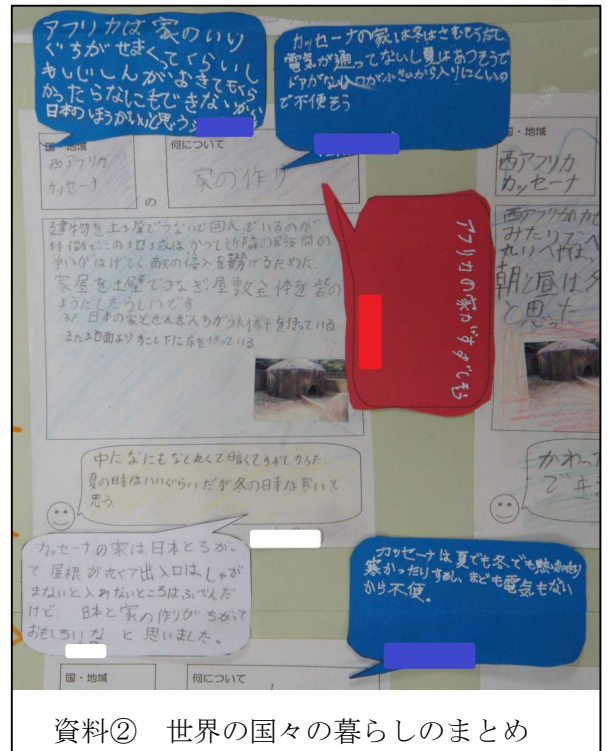


資料① 写真を選んでいる子どもたち

- ④ まとめたものを地域ごとに集め、掲示した。世界の国々と日本の暮らしの違いに着目することができるように、良い、悪いと思うところをメモし掲示するようにした。（資料②）
- ⑤ 日本と世界の国々の暮らしについて自分の考えをもった。

6 成果と課題

- 見学した建物や民族衣装を写真として保存することで、友達が見学できなかった国について、分かりやすく説明することができた。
- 知らせたいところだけを切り取り、工夫して伝えようとすることができた。
- 伝えたいことに焦点を当てることができず、上手に伝えられなかった子どもに対して、手だての改善の必要性を感じた。



資料② 世界の国々の暮らしのまとめ